

嵐の中のARDF

2009北陸地方大会(144MHz) での私の判断と行動

2009年4月26日(日)
於 富山県黒部市

安島 巧

磁北: 約 7° 10' 西偏り
縮尺: 1/10000
等高線間隔: 10m
△: スタート
◎: ゴール

緊急連絡先

(大会事務局 高村)

1:10,000

0 200 400 750 1000

初めに

このドキュメントは、ARDF競技に参加したときに、私がどういう場面でどういう判断をしたかを記憶を頼りに記録したものです。

従って、「こうすべき」という正解を記載したものではありません。

ARDFに参加した一競技者の話として、主に初心者の皆さんの役に立てられればと思って作成いたしました。

あなたならどう攻めますか？

北陸地方ARDF競技大会in黒部市

2009/04/26



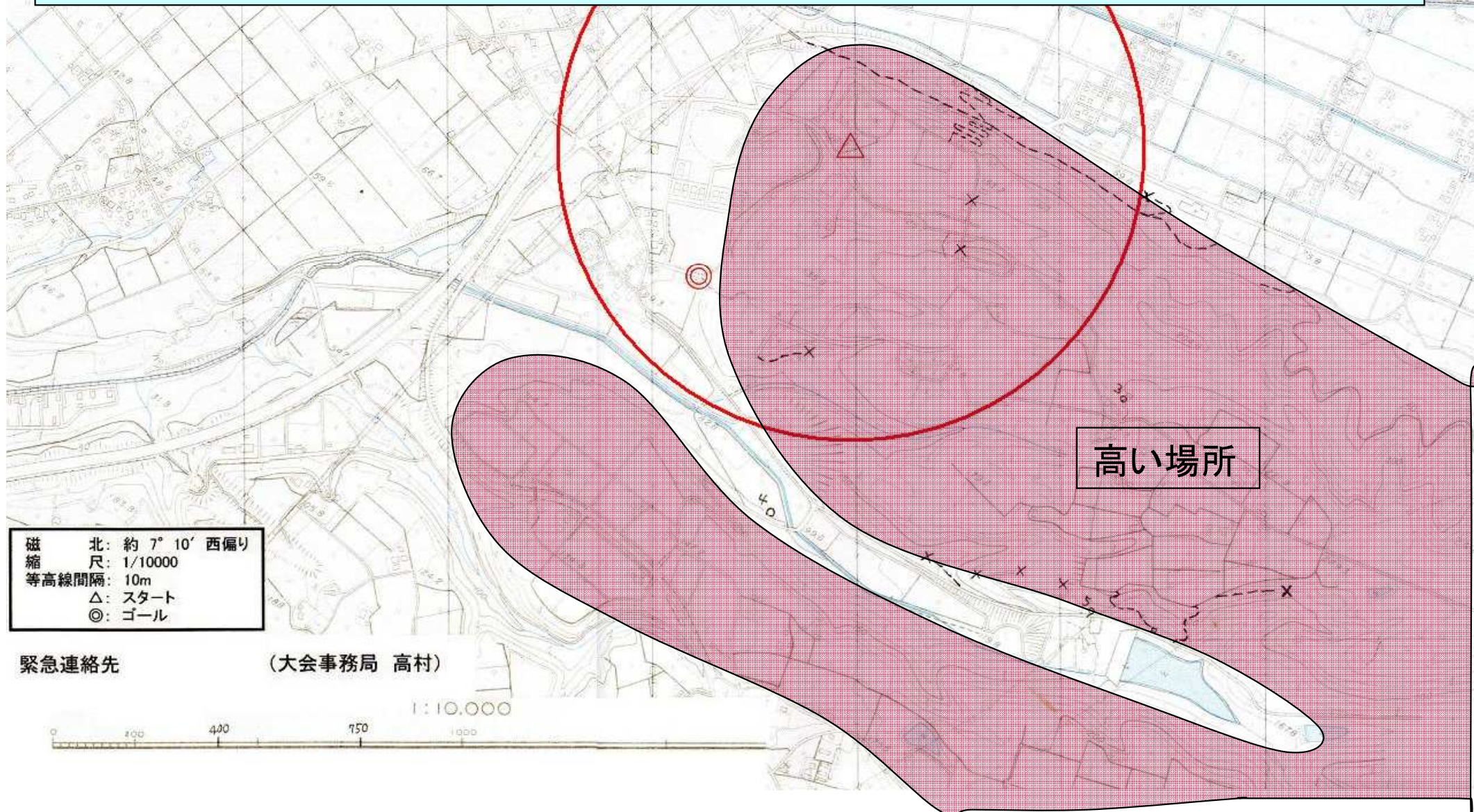
磁北: 約 7° 10' 西偏り
縮尺: 1/10000
等高線間隔: 10m
△: スタート
◎: ゴール

緊急連絡先 (大会事務局 高村)

1:10,000

①「スタート地点にて地図読み」

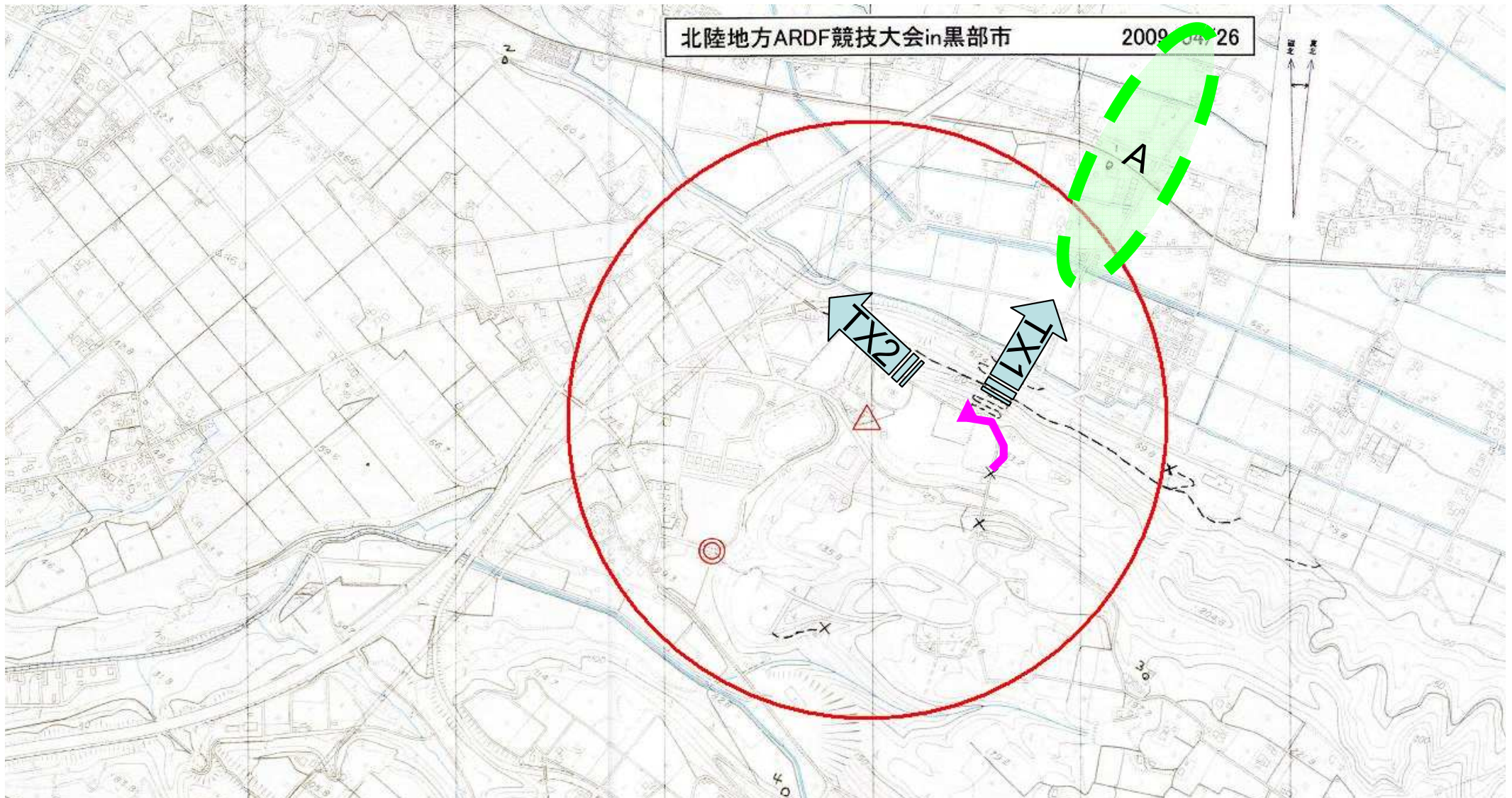
スタートは高所。テレインは低地に広がりゴールも低地。よってスタート直後の方探が今日の全てを決める。ここで問題発生。暴風雨のため、ありがたいことに地図はビニール袋入り。ところが、私の雨対策用クレヨンがビニールに書けない。今日はスタート円も書かず、全て記憶に頼る探索の練習だ。





②高所での方探

スタートするとなだらかな登り。とにかく上を目指す。TX1,2が北側、TX3,4が南側。TX3,4は見通しでなさそうなのでご参考だ。TX1がとても強い。私の頭のメモリーは3つくらいしかないの、M40対象外のTX5は聞くこともしない。他を忘れてしまうからだ。それにしても激しい雨だ。一番強いTX1から左回りのコース取りにする。



磁 北:
縮 尺:
等高線間隔:
△:
◎:

緊急連絡先

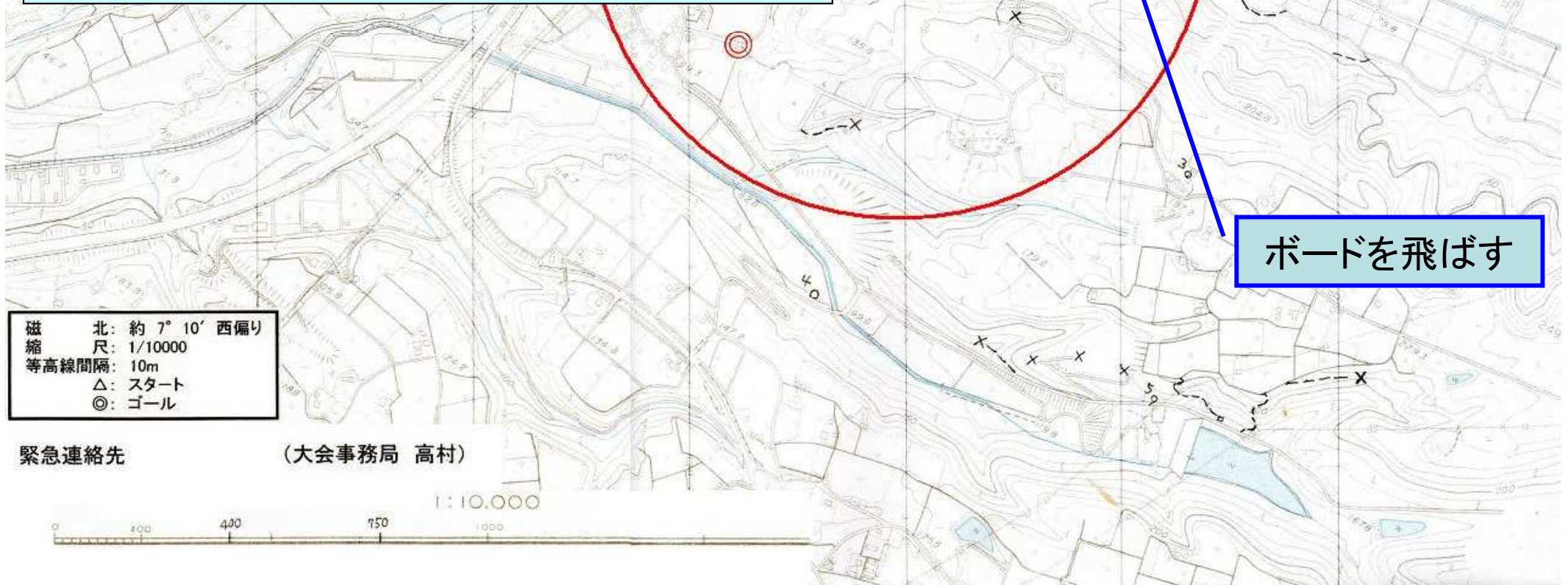
③九十九折

北側の平野部を見下ろす絶景。TX1は真正面。反射の「ハ」の字もない直接波。太い車道沿いで気持ち左(Aエリア)と推定。TX2は西方向で山肌ぎりぎりの方向だ。太い道へ向かってひたすら降りる。

後ろから雲母ちゃんが下ってくる。「急ぐと滑ってあぶないぞー」。
逆に登ってくる人もいる。「すご〜い」

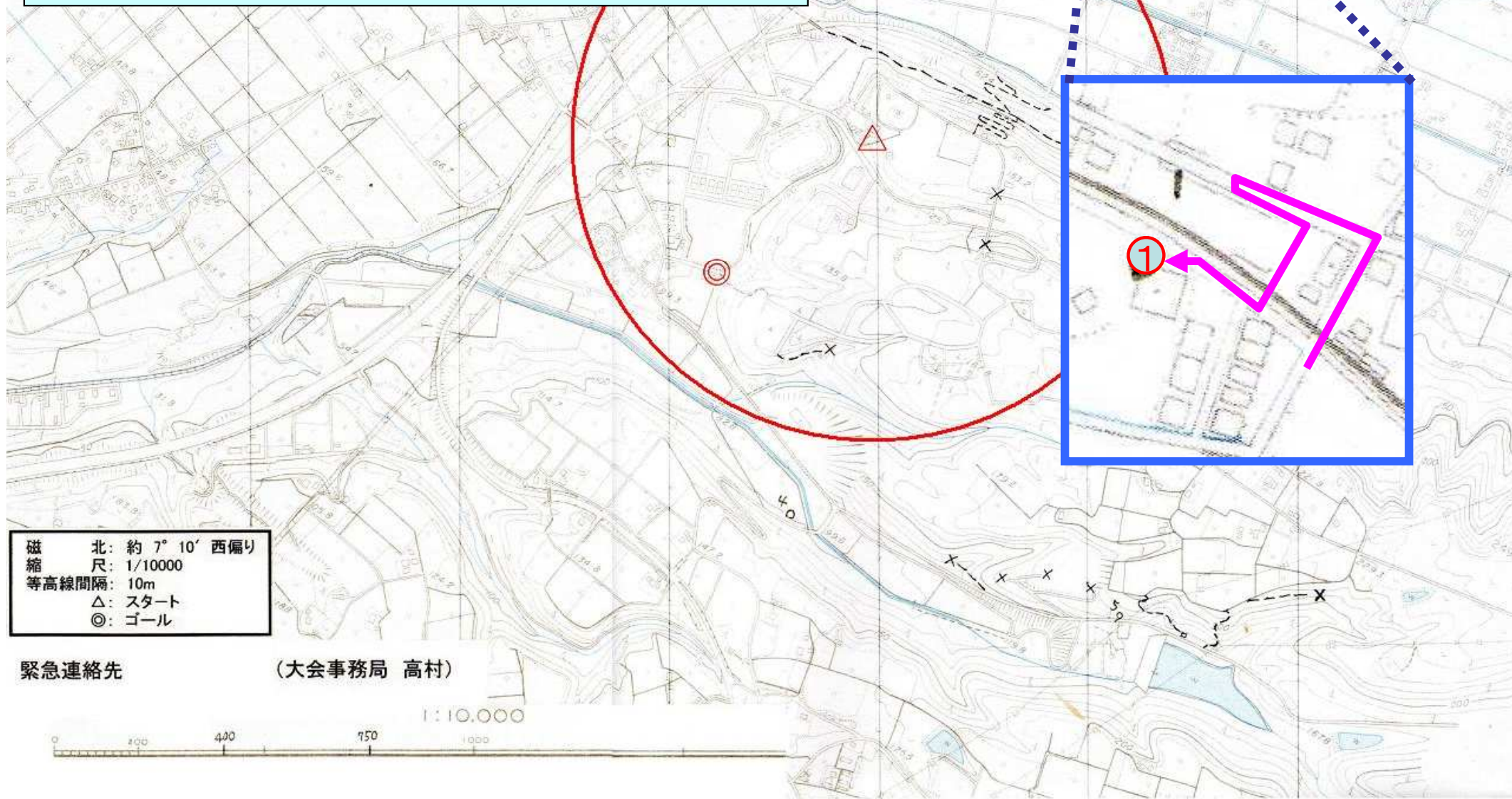
④太い車道

下界に下りる。強い風で地図ボードが飛ばされる。もしそこに人がいたらと思うとぞっとする。途中で同一スタート組である西原さんとすれ違う。TX1をゲットしてきた様子だ。流石に速い。踏み切り手前でTX1が鳴く。踏み切りの右側でなく左側だ。線路の向こう側かこちら側かが重要だが、なんとなく向こう側。踏み切りまで到達しないうちに停波したので、はっきりとはわからない。



⑤TX1

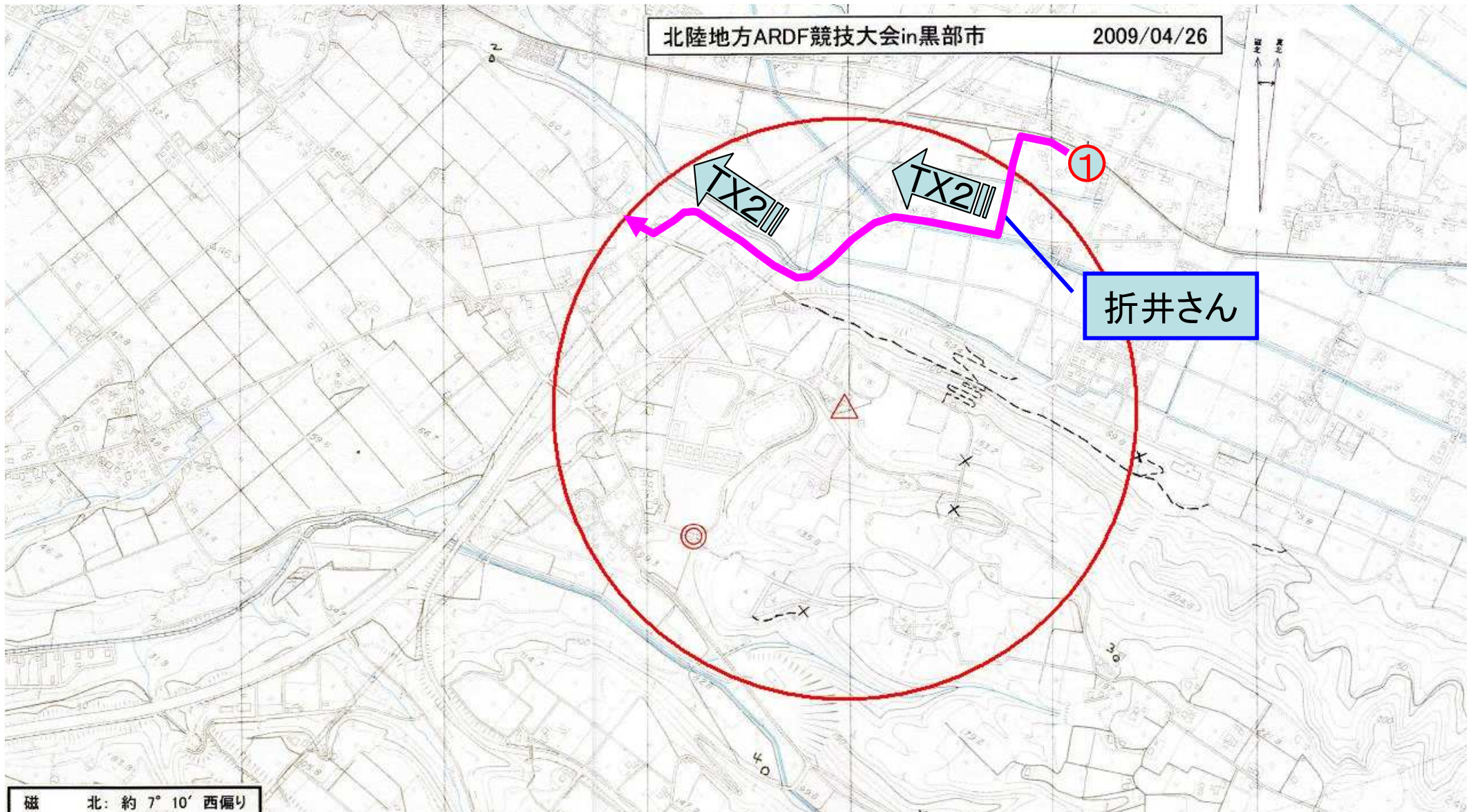
TX2は線路に沿った西方向だ。一応向こう側に
渡り、左方向へ進む。しばらく行くとフラッグが見
えた。あわてて戻る。なるほど公民館か。TX1
ゲット。



磁北: 約 7° 10' 西偏り
縮尺: 1/10000
等高線間隔: 10m
△: スタート
◎: ゴール

緊急連絡先 (大会事務局 高村)

1:10,000



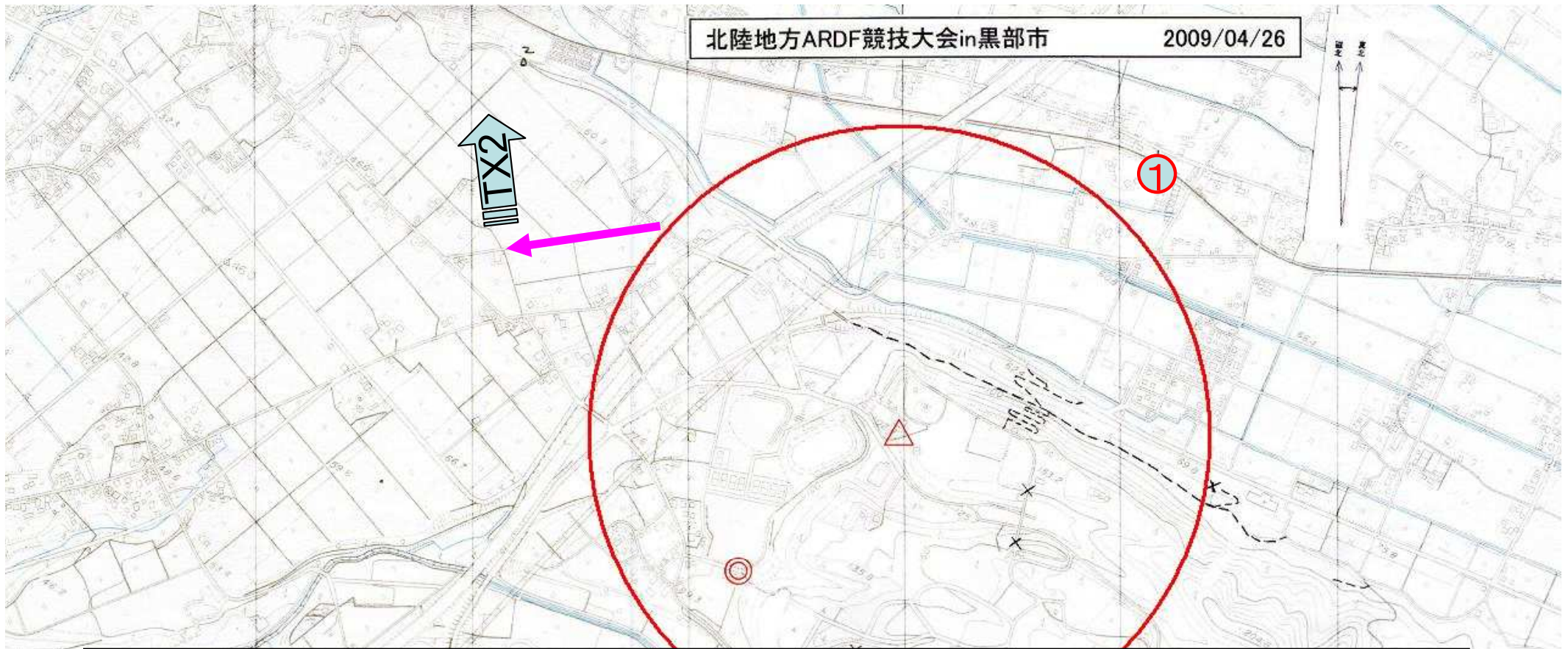
磁 北: 約 7° 10' 西偏り

縮 等高線間

緊急連絡

⑥西に進む

TX2は完全に西方向。途中で折井さんとすれ違う。折井さんはTX1方向に向かっている。川に注意しながら進む。橋があまり無いので、渡れないからだ。雨脚がひどくなってきた。地図ボードをRXにかぶせて傘としているがだんだん腕も疲れてきた。



⑦TX2をあきらめ、お帰りモード

ここで、コンパスを見て愕然。道の方が違っている。途中の分岐で斜めに入ってきてしまったのだ。これは痛い。TX2が鳴く。方位が上手く出ないが北方向だ。やられた。しかしおかしい。妙に弱い。普段ATTを全て解除することはほとんど無いが、そうしないと信号が聞こえなくなった。ちょうど電池が無くなってきたときと似た症状だが、電池は新品のはず。RXに雨が入ったのか？雨対策のサランラップは半分なくなっている。TX2は反射の影響もありそうだし、既にTX2に行く気力は無くなっている。時間は十分にあるが、雨対策サランラップはもう全部なくなっている。今日は探索数1で終了と考え、ゴールへと向かうことにする。

⑧南の谷戸へ
ゴールの先にTX3,4がある。ちょうど谷戸の奥だ。急なのぼりでもないし、雨も弱くなってきたので行ってみることにする。
途中でTX3が左側の山の上に聞こえる。これは反射の影響がある可能性大なので無視する。
交差点から上りに入る。西原さんとすれ違う。なぜ上から？
その直後TX4が鳴く。



磁 北: 約 7° 10' 西偏り
縮 尺: 1/10000
等高線間隔: 10m
△: スタート
◎: ゴール

緊急連絡先

(大会事務局 高村)

1:10,000

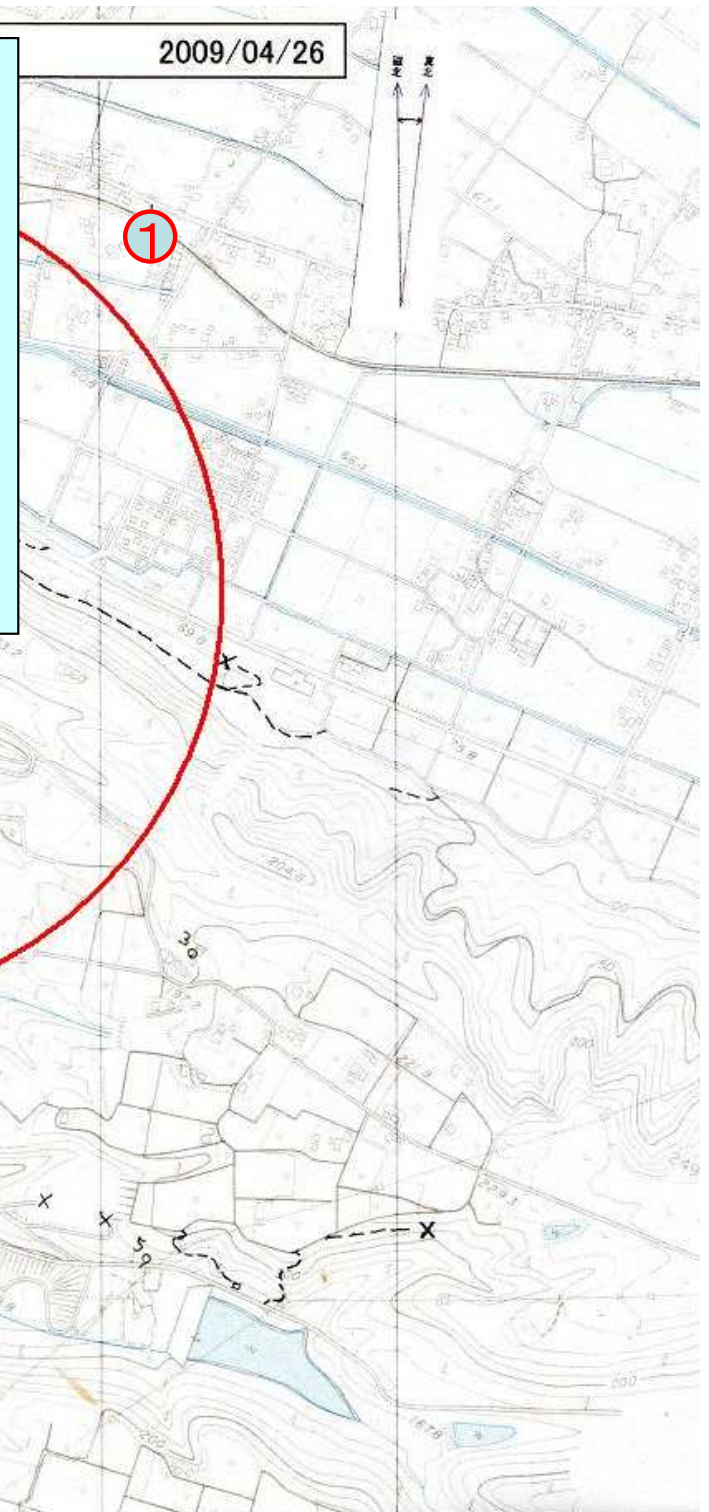
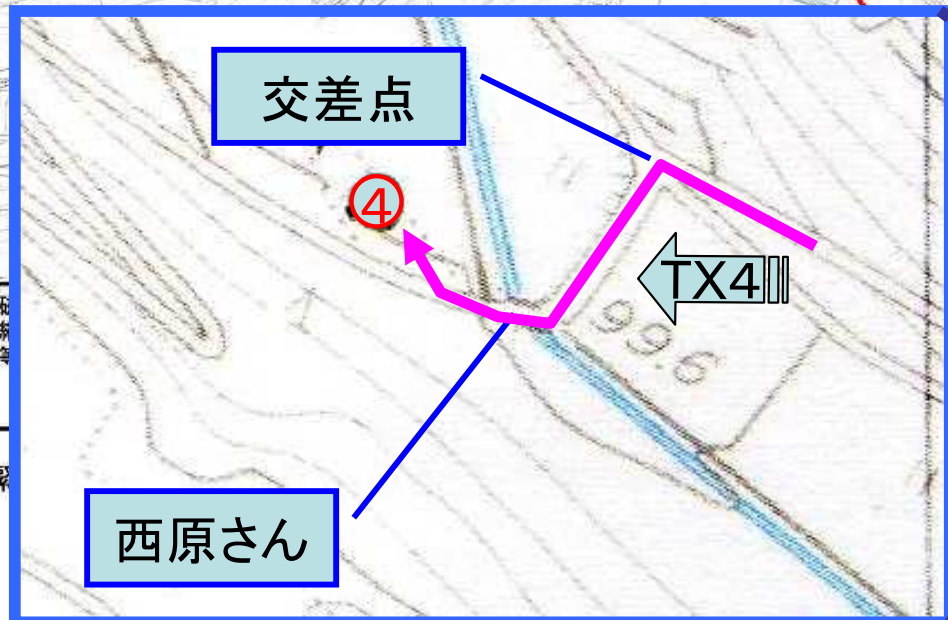


2009/04/26

⑨TX4

後ろの交差点を曲がった反対側の山方向だ。西原さんもそちら方向へ曲がっていく。方位は安定している。となると見通しか。しかし強くない。よって山頂ぎりぎりか、登りきったちょっと向こう側と推定。

交差点を曲がると西原さんが戻ってきた。ゲットした様子だ。あれっそんなバカな。そんなに近いわけがない。右にカーブしたところでフラッグを発見。おかしいなあ。TX4
ゲット。



2009/04/26

⑩TX5

坂道に戻り登り始めたところで、三村さんが「下りは快適！」という感じで降りてきて、交差点をちゃんとTX4の方向へ曲がった。TX5が鳴く。結構近いがまだ距離はありそう。TX5は探索対象外だが、あきらめたTX2の代わりにでも拾っていくかと思って左を見るとフラッグが。何番？5番!えっうそでしょう。感度が相当落ちている。TX5ゲット。



磁北: 約 7° 10' 西偏り
縮尺: 1/10000
等高線間隔: 10m
△: スタート
◎: ゴール

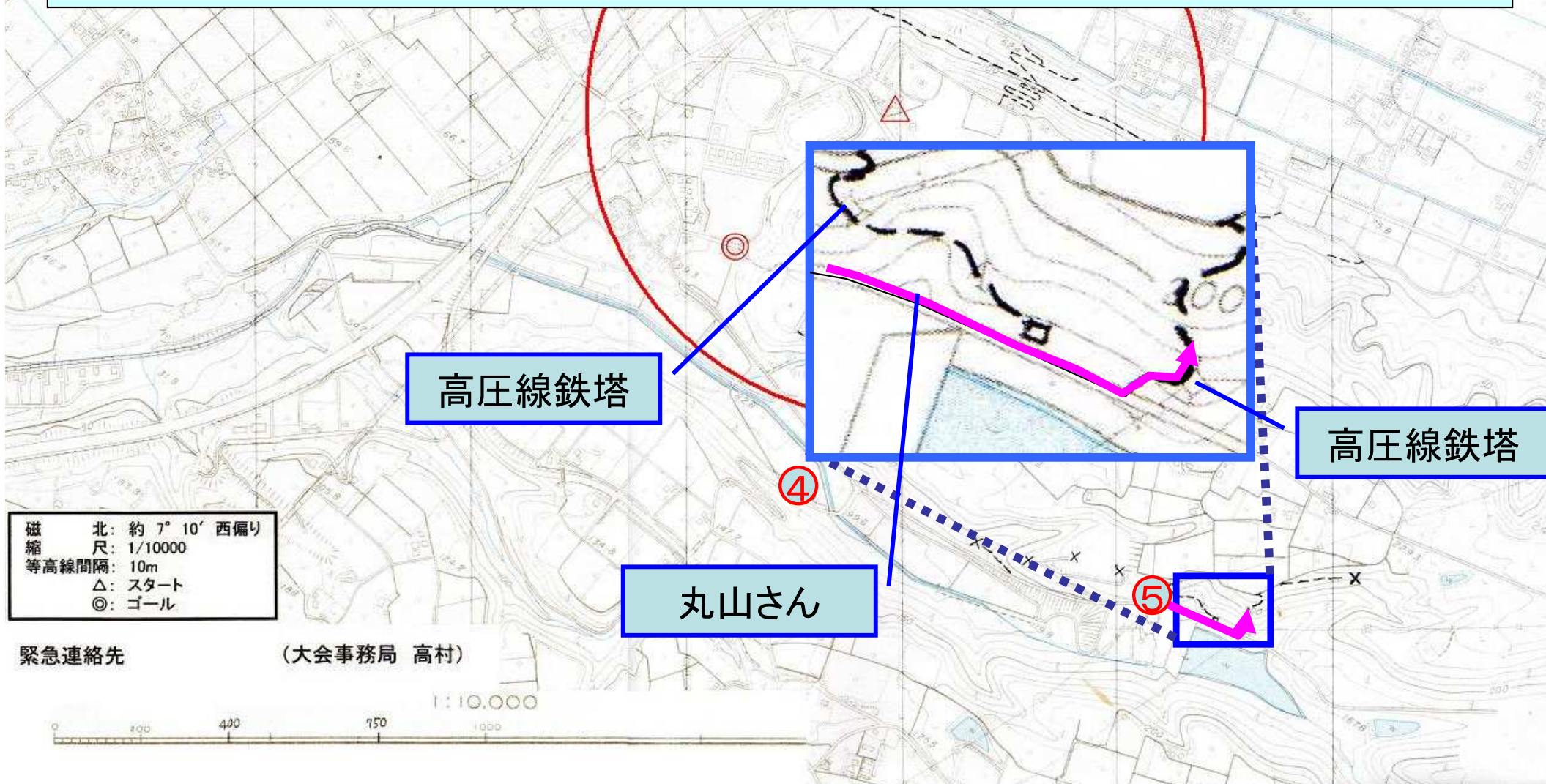
緊急連絡先 (大会事務局 高村)

三村さん



⑪山への上り口

谷戸も奥まってきたし、これ以上進んでも上に上る道は無い。TX3も上にありそう。そこで湖のほとりを上に登り、TX3経由でゴールするルートを考える。湖のほとりでは丸山さんが崖を見上げながらうろうろ上り口を探している。確かにここら辺にあるはずだ。何か目印は無いか？高圧線鉄塔との位置関係から登り口の場所を特定。行くとちゃんと存在した。登る。ぜいぜい。今日の最後ののぼりだ。



⑫田園地帯

山道を登りきると田園風景が開けた。TX3が鳴く。ATTは遠距離設定だが、今日の場合は近距離と読み替える。もう地図ではなく現物で探索する。動いても方位は比較的安定しているので反射はなく、方向は緑の屋根の家方向だ。



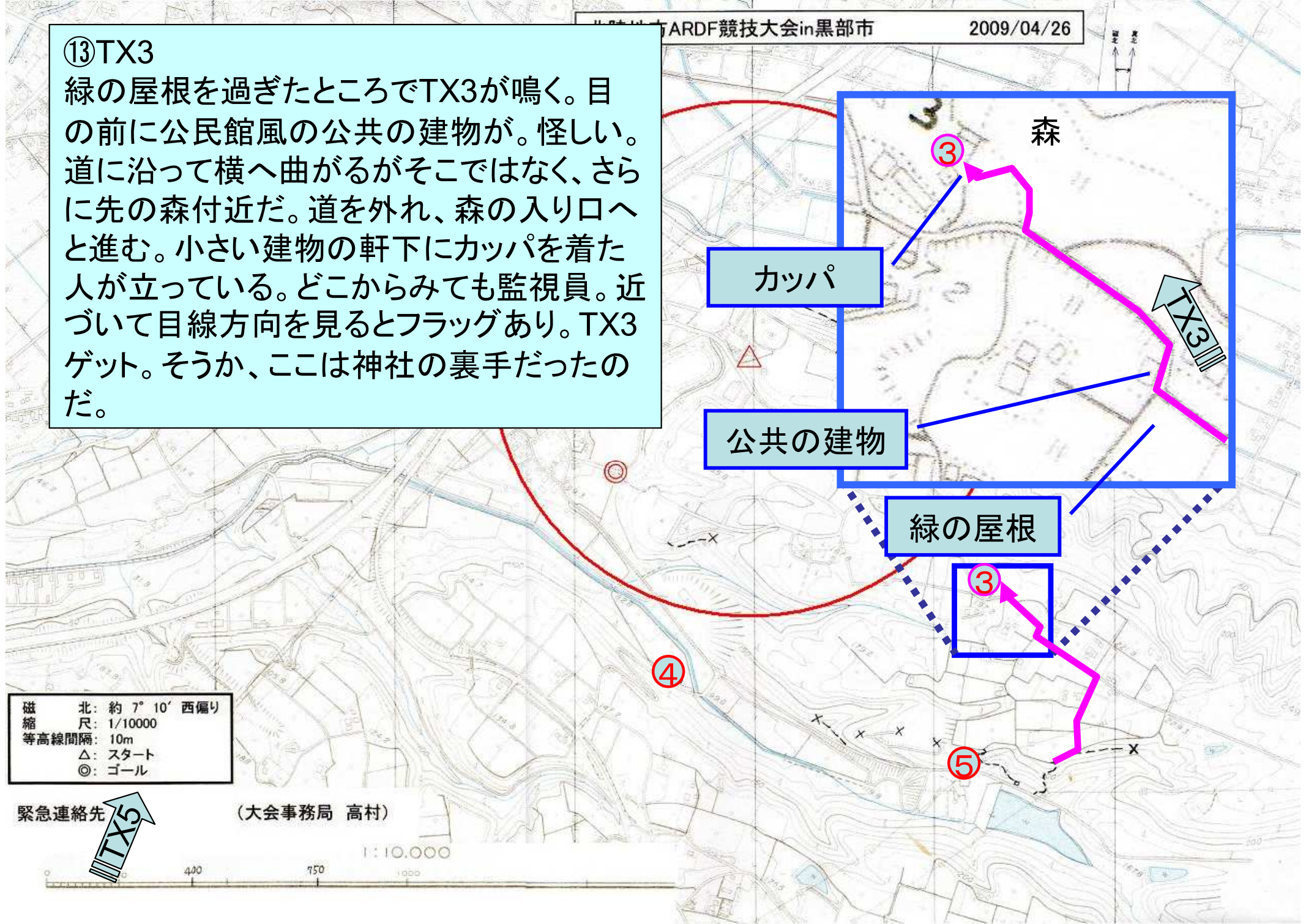
磁北: 約 7° 10' 西偏り
 縮尺: 1/10000
 等高線間隔: 10m
 △: スタート
 ◎: ゴール

緊急連絡先 (大会事務局 高村)




⑬TX3

緑の屋根を過ぎたところでTX3が鳴く。目の前に公民館風の公共の建物が。怪しい。道に沿って横へ曲がるがそこではなく、さらに先の森付近だ。道を外れ、森の入り口へと進む。小さい建物の軒下にカッパを着た人が立っている。どこからみても監視員。近づいて目線方向を見るとフラッグあり。TX3ゲット。そうか、ここは神社の裏手だったのだ。



磁北: 約 7° 10' 西偏り
 縮尺: 1/10000
 等高線間隔: 10m
 △: スタート
 ◎: ゴール

緊急連絡先


(大会事務局 高村)

1:10,000

⑭ゴール直前の山道入り口へ
 ひたすらゴールへと向かうが、すごい
 暴風雨になってきた。RXが心配なの
 でSWをきる。ビニール入りの地図も
 べろべろ状態になっている。車が通
 る広い道をゴールへと向かうが、最
 後で地図と道路形状が異なっている。
 造成されたのか？現在の地物(道路
 や建物などの人工物)は無視して、
 地図上の山道入り口へ向かう。山道
 の入り口が見つからない。



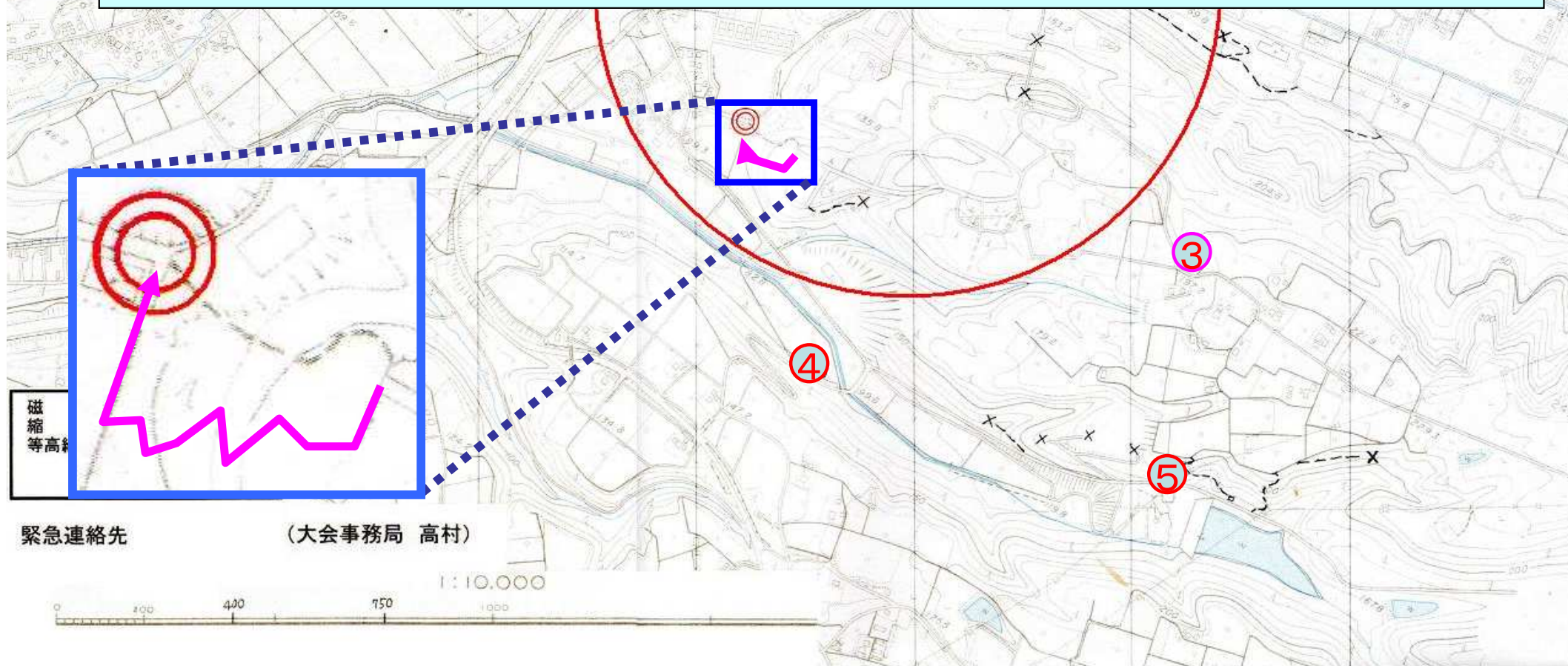
⑮ゴール

きょろきょろすると山道らしきものが見えた。これしかないと思い、そこ下るが、だんだん道が無くなり、方位も違ってくる。しかし下界が少し見えるのでそこまで出ればゴールへいけるはずだ。

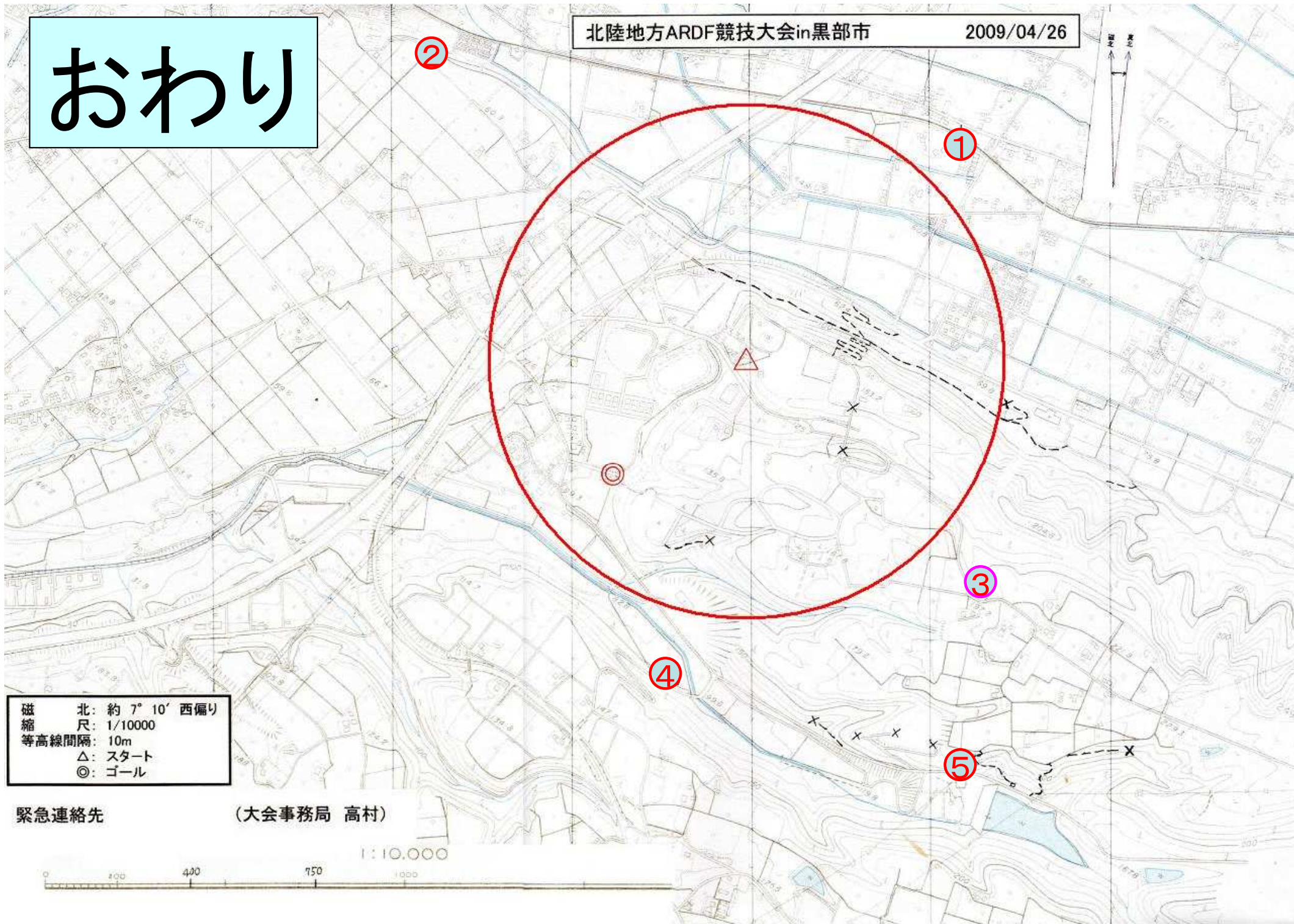
ヤバイ。完全に藪コギモード。木につかまりながら下る。スタート前にあれだけ「今日は藪コギをしない」と黒木さんと誓い合ったのに。足もぬかるみにずぶずぶ入っていく。滑ってしりもちをつくのは時間の問題と覚悟。

出た！そしてゴールは目と鼻の先！ゴール！！

後で聞いた話だが、黒木さんもまったく同じコースで藪コギしていたことが判明した。



おわり



磁北: 約 7° 10' 西偏り
縮尺: 1/10000
等高線間隔: 10m
△: スタート
◎: ゴール

緊急連絡先

(大会事務局 高村)

1:10,000